

胆沢ダム奥州湖の貯水位が 平常時最高貯水位に到達

胆沢ダム工事事務所では、平成25年度の完成を目指し岩手県奥州市の胆沢ダムにおいて試験湛水を行っておりますが、この度、平常時最高貯水位に到達しましたので、お知らせいたします。

胆沢ダムは、ダム堤体、基礎地盤及び貯水池周辺地山の安全性を確認するために試験的に水を貯める試験湛水を平成24年12月3日から実施しておりますが、平成25年4月15日に「平常時最高貯水位」(EL. 345.6m)に到達しました。

今後、奥州湖の貯水位を洪水時最高水位(EL. 356.5m)まで上昇させた後、最低水位(EL. 304.0m)まで水位を低下させ、試験湛水を終了させる予定です。

試験湛水状況(映像)は下記のホームページでご覧になれます。

http://www.thr.mlit.go.jp/isawa/jogeryu/jogeryu_index.html

〈発表記者会：奥州市記者クラブ、日刊岩手建設工業新聞社、建設新聞社〉

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 胆沢ダム工事事務所
電話 0197-46-4711 (代表)

副所長(技術) ふじわら 藤原 まさゆき 政幸 (内線204)

調査・品質確保課長 いいた 飯田 まなぶ 学 (内線351)

胆沢ダム【奥州湖】の貯水状況

平成25年4月15日 平常時最高貯水位(標高345.6m)



胆沢ダム堤頂から奥州湖を望む



奥州湖から胆沢ダム堤体を望む

